

◆年間指導計画（第四学年）

日本文教出版株式会社

○配当時数を設定している教材のうち、学校の授業以外の場において行うことが考えられる学習活動は、[配当時数]と[学習活動]の文字を赤色で示しています。

○当該学年の指導内容を年度内に終えることができなかつたときは、次年度以降へ送ることも考えられます。その場合は、上級学年に送った指導内容を教員間でしっかりと引き継ぎしてください。

○各教材の評価規準は、日本文教出版Webサイトにて公開の「令和2年度版 年間指導計画案・評価規準」をご参照ください。

<https://www.nichibun-g.co.jp/textbooks/s-shosha/>

単 元	主教材	教科書 ページ	配当 時数	目 標	学習活動	備 考
					(黒字…学校で / 赤字…学校以外の場も可)	
書写学習の進め方		1・2	2	●書写学習の進め方を理解する。	* 書写学習の進め方を知り、書写学習の心構えをもつ。 * 書写学習の進め方を確かめて、自分の生活や他の学習にいかす。	
①書くしせいと用具のあつかい方	書くしせい	3・4		●毛筆書写のよい姿勢を身につける。	* 毛筆で書くときの適切な姿勢を確かめる。 * 鉛筆で書くときの姿勢との共通点や相違点を見つける。 * 自分の姿勢と比べ、足の位置や腰のかけ方など、適切な姿勢を身につける。	
	筆記具の持ち方	5		●筆記具の適切な持ち方を身につける。	* 適切な筆の持ち方を確かめる。 * 自分の筆の持ち方と比べ、適切な筆の持ち方を身につける。 * その他の筆記具の適切な持ち方を確かめる。	
	毛筆用具の置き方とじゅんぴ	6		●用具の種類と名称、使い方・置き方・扱い方を知る。	* 用具の種類と名称、使い方・置き方・扱い方を確かめる。 * 用具の使い方・置き方・扱い方を身につける。	
	用具の後始末	7		●毛筆用具の後始末の仕方を知る。	* 用具の後始末の仕方を確かめる。 * 用具の後始末の仕方を身につける。	
②点画の組み立て方	点画の種類	8・9	2	●三年生で学習した点画の筆使いを思い出して書く。	* 三年生で学習した点画の種類や筆使いを確かめる。 * 穂先の向きと通り道、筆圧の強弱に気をつけて点画を書く。	

	筆使いと字形 「光」	10・11	2	●点画の筆使いを確かめながら、字形を整えて書く。	*「光」に含まれている点画とその筆使いを確かめる。 * 曲がりの筆使いを確かめて、字形を整えて、「光」を書く。 * 曲がりのある漢字を字形に気をつけて書く。	
	画の方向 「友」	12・13	2	●画の方向に気をつけて書く。	* 二つの左払いの方向を確かめる。 * 二つの左払いの方向に気をつけて、「友」を書く。 * 払いの方向に気をつけて、他の文字を書く。	
③字形の整え方	筆順と字形 「左右」	14～16	2	●筆順に気をつけて、字形を整えて書く。	* 筆順と画の長さの違いを確かめて、「左右」を書く。 * 「左右」で学習したことを他の文字にいかして書く。 * 間違えやすい筆順の漢字を書く。	
	文字のつり合い	17	1	●中心を目安にして、文字のつり合いを考えて書く。	* 中心と、文字のつり合いを確かめる。 * 中心と、左右のつり合いを考えて文字を書く。 * 中心を揃えて文字を書く。	
④部分の組み立て方	左右の組み立て方1 「土地」	18・19	2+1	●左右の部分の組み立て方に気をつけて書く。	* 「土」が「つちへん」になったとき、形や幅の変化を確かめる。 * 左右の部分の組み立て方に気をつけて、「土地」を書く。 * 左右の部分の組み立て方をいかして、他の文字を書く。	○毛筆教材と硬筆教材を組み合わせ、一体となった学習展開を図ることも考えられる。
	左右の組み立て方2	20		●左右の部分の幅の違いを考えて書く。	* 漢字によって、左右の部分の幅の違いがあることを確かめる。 * 左右の部分の組み立て方に気をつけて文字を書く。 * 漢字によって、位置や大きさに違いがあることを確かめる。	
	上下の組み立て方1 「竹笛」	22・23	2+1	●上下の部分の組み立て方に気をつけて書く。	* 「竹」が「たけかんむり」になったとき、形や高さの変化を確かめる。 * 上下の部分の組み立て方に気をつけて、「竹笛」を書く。 * 上下の部分の組み立て方をいかして、他の文字を書く。	○毛筆教材と硬筆教材を組み合わせ、一体となった学習展開を図ることも考えられる。
	上下の組み立て方2	24		●上下の部分の高さの違いを考えて書く。	* 漢字によって、上下の部分の高さに違いがあることを確かめる。 * 上下の部分の組み立て方に気をつけて文字を書く。 * 漢字によって、上下の部分の大きさに違いがあることを確かめる。	
	形の変化	25	1	●別の漢字の部分になったときの、形の変化に気をつけて書く。	* 別の漢字の部分になったときの、形の変化を確かめる。 * ゆずり合って形が変化していることを確かめて書く。 * 形の変化に気をつけて他の文字にいかす。	

⑤ひらがなの筆使い	むすび 「はす」	26・27	1	●結びの筆使いに気をつけて書く。 * 平仮名の結びの筆使いを確かめる。 * 結びの筆使いに気をつけて、「はす」を書く。 * 穂先の向きと通り道を決めて、結びのある平仮名を書く。	
	ひらがなの筆使い	28・29	2	●やわらかい線に気をつけて書く。 * やわらかい線になるように気をつけて練習する。 * やわらかい線で、平仮名を書く。 * やわらかい線に気をつけて、小筆で平仮名を書く。	
書きぞめ	「平和」	35～37	2+2	●これまでに学習したことをふり返って、自分のめあてをもって書く。 * 既習内容を思い出し、自分のめあてを考える。 * 自分で立てためあてに気をつけて、「平和」を書く。	○二つの書き初めの教材を、学校の授業と学校の授業以外の場での学習に分けることも考えられる。
	「元気な声」	53～56		●文字の中心、画と画の間などに気をつけて、文字の形を整えて書く。 * 文字の中心、画と画の間など、既習内容を思い出し、確かめる。 * 文字の中心、画と画の間などに気をつけて、「元気な声」を書く。	
⑥文字の大きさと配列	文字の大きさ 「白馬」	30・31	2	●大きさの違いに気をつけて書く。 * 画数の多少と文字の大きさを確かめて、つり合いを考える。 * 文字の大きさの違いに気をつけて、「白馬」を書く。 * 文字の大きさの違いを決めて、他の文字を書く。	
	漢字とひらがなの大きさ	32	2	●文字の大きさに気をつけて書く。 * 漢字と平仮名の大きさを確かめる。 * 漢字と平仮名の大きさに気をつけて書く。	
	行の中心と字間・行間	33	1+1	●配列よく書くための方法を知り、読みやすく書く。 * 行の中心や字間・行間のとり方を確かめる。 * 行の中心や字間・行間に気をつけて書く。 * 学習したことを生活にいかし、配列を考えて書く。	
[言葉のまど] 言葉を集めて分類しよう		34	1	●様子や行動を表す語句を用いた文章を、字形や配列に気をつけて書く。 * 「様子」、「物や事」、「動き」を表す言葉を考え、書き出す。 * 書き出した言葉を使って文を作り、字形や配列に気をつけて書く。	
⑦学習をいかして	四年生のまとめ 「歩み」	38・39	2	●四年生の書写学習で学んだことをいかして書く。 * これまで学習したことがどこに含まれているか確かめる。 * 自分でめあてを立てて、「歩み」を書く。 * これまでに学習したことをいかして、「歩み」を書く。	

小筆で書こう	21	適宜	●持ち方を確かめて、自分の名前を書く。	*小筆の持ち方・書く姿勢を確かめる。 *文字の中心や字間に気をつけて、小筆で自分の名前を書く。	
[国語の広場] お気に入りの本をしょうかいしよう	40・41	適宜	●文字の大きさや配列に気をつけて、読書紹介を書く。	*話し合いメモや本のリーフレットを見て、読みやすい書き方を確かめる。 *自分たちも読書交流会をして、本のリーフレットを書いてみる。 *自分たちが書いたメモやリーフレットを見て、読みやすい書き方を確かめる。	
[生活と書写] 手紙の書き方	42～44	適宜	●文字の大きさや配列に気をつけて、お願いや案内の手紙・年賀状を丁寧に書く。	*お願いや案内の手紙の書き方を確かめて書く。 *封筒やはがきの書き方を確かめて書く。 *年賀状の書き方を確かめて書く。	
[生活と書写] 都道府県名の書き方	45	適宜	●文字の大きさに気をつけて都道府県名を書く。	*四十七都道府県名を漢字で書く。 *画数と文字の大きさを確かめて、都道府県名をもう一度書く。	
[生活と書写] 原稿用紙の使い方	46	適宜	●原稿用紙の使い方を確かめ、字形を整えて書く。	*原稿用紙の使い方を確かめる。 *原稿用紙を正しく使い、字形を整えて文章を書く。 *読みやすい文章になっているか推敲する。	
[生活と書写] けいじ物の書き方	47	適宜	●文字の大きさや配列を考えて、学級新聞やポスターを書く。	*掲示物の内容・掲示場所・対象を考える。 *読み手に興味をもってもらえるような工夫を考える。 *文字の大きさや配列を考えて、学級新聞やポスターを書く。	
三年生で学習した漢字（200字）	48・49	適宜	●三年生で学習した漢字を丁寧に書く。	*三年生で学習した漢字を、字形を整えて丁寧に書く。 *目的や課題に合った漢字を一覧表から探し出す。	
四年生で学習する漢字（202字）	50～52	適宜	●四年生で学習する漢字を丁寧に書く。	*四年生で学習する漢字を、字形を整えて丁寧に書く。 *目的や課題に合った漢字を一覧表から探し出す。	
ひらがな・かたかなの表	表③	適宜	●平仮名と片仮名の五十音を丁寧に書く。	*正しく整った字形の文字を書くために、五十音表を見て確かめる。 *濁音・半濁音の点や丸の書き方（位置）を確かめる。	